☆☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂

江別ユネスコ協会事務局だより　2021年5月31日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内（担当:見上☎381-1069）

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産に！ ICOMOSが勧告！

ユネスコは、さきに中国福建省の福州市で開催する予定だった第44回世界遺産委員会の現地開催を断念し、7月16～31日にオンラインで開催することを決めましたが、本年の世界遺産委員会で、日本政府が推薦した自然遺産候補「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」と、文化遺産候補「北海道・北東北の縄文遺跡群」とが、同時に登録審査されることになっています。

今回の委員会に先立ち、ユネスコの諮問機関イコモス（ICOMOS＝国際記念物遺跡会議）は、5月26日に「この遺産の登録が適当」とする内容の勧告を発表しました。この勧告で、世界遺産への登録がほぼ確実となりました。「北海道・北東北の縄文遺跡群」は北海道と青森県、岩手県、秋田県にある17の遺跡で構成され、道内の遺跡では大船遺跡（函館市）など6件が含まれています。

なお、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」については、自然遺産の評価を担当する諮問機関・国際自然保護連合（ICUN）が、5月10日に「登録が適当」とユネスコに勧告したと発表しているので、7月の世界遺産委員会での登録決定は、まず間違いないものと思われます。この2件が登録されると、日本の世界遺産は25件（文化遺産20件、自然遺産5件）となります。

道ユネスコ連絡協議会の維持会員を募集！ 常任理事会ひらく

北海道ユネスコ連絡協議会の常任理事会が、5月8日（土）13：30に、札幌市「かでる2･7」10階会議室で開催されました。コロナ禍の影響は、各地ユネスコ協会の活動全般が停滞するのみでなく、高齢者会員の減少による財政危機にまで及んでいる実態について議論が交わされました。

特に、道ユネスコ連絡協議会としては、帯広青年ユ協、高校ユ連協の現況に関心を深めており、財政問題では維持会員の減少に危機感を募らせています。各地ユネスコ協会もそれぞれの地域で道ユ連協の維持会員を募集して欲しいと、大津会長から特段の要請がありました。

北海道ユネスコ大会（小樽）は１０月９日に開催の予定です

前掲の5月8日開催の道ユネスコ連絡協議会の常任理事会で、本年度の北海道ユネスコ大会について協議され、開催地の小樽ユ協では10月9日（土）にゴールドストーン（旧渋沢倉庫）を会場にして開催する予定で準備している状況が報告されました。問題点として会場が余り広くないことが指摘され、更に検討して次回の常任理事会で結論を出すことになりました。

インドからカレンダーの礼状が届きました

当協会のカレンダー国際交換活動で、インドへ送ったカレンダーに対する礼状が事務局へ届きました。サムヒギンボトン農工大学マキノスクールの三浦照男校長からです。2月3日に発送したものが4月22日に到着したそうです。コロナ禍のため郵便事情が混乱して、配達されない荷物もある中で、何とか届いたことは幸いです。お手紙の内容で、カレンダーに印刷された日本の美しい風景は、コロナに苦しむインドの人々を慰め、日本に対する関心を高めている様子がうかがえます。

北海道ユネスコ連絡協議会の総会は６月２０日に延期です

前号（4月28日号）で、北海道ユネスコ連絡協議会の令和3年度定期総会が5月29日（土）に札幌市「かでる2･7」にて開催される－とお伝えしましたが、今般コロナ感染症の蔓延を理由に、6月20日（日）に延期される旨、電話連絡がありました。詳細は近日、通知されますので、出席希望者は当協会事務局にご照会ください。「ポールスターホテル札幌」での交流会は中止です。